
コロナ禍後の食品カテゴリー販売動向

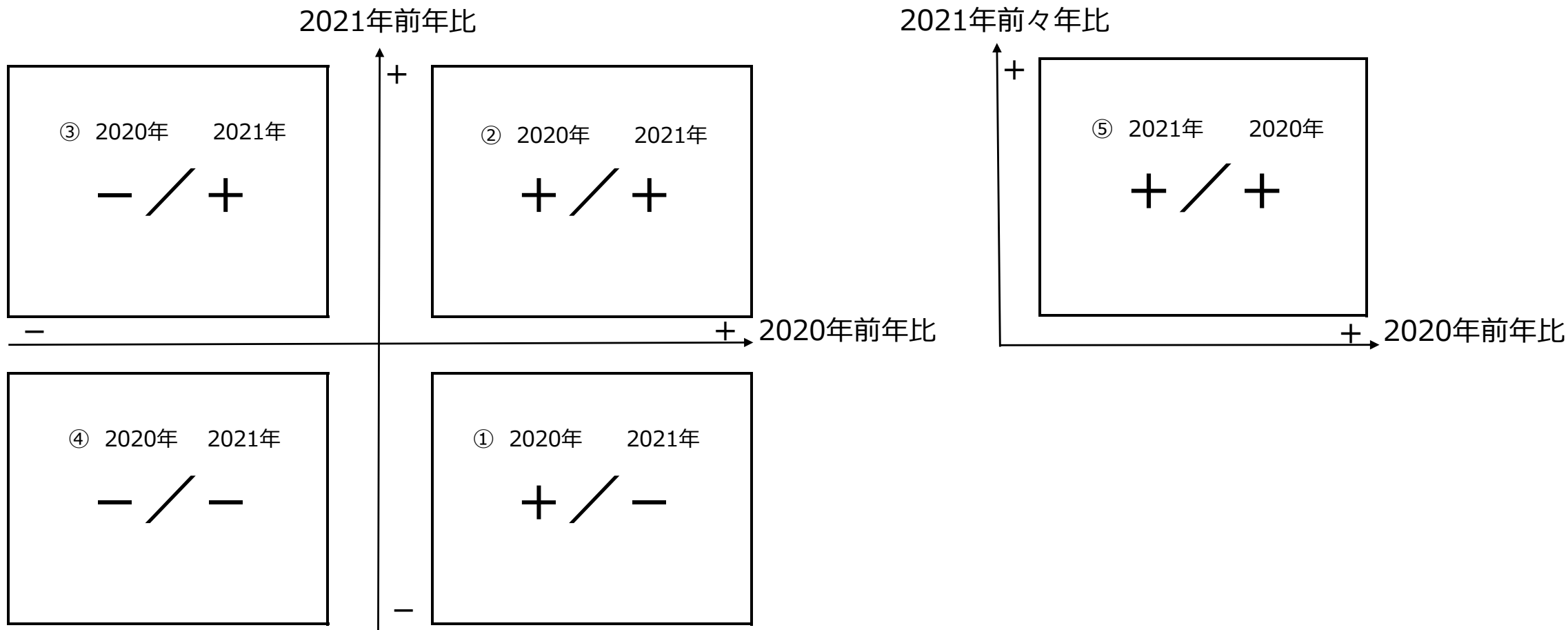
～ カテゴリー動向の変化を見る ～

2022/5/20



IS 699021 / ISO 27001

2020年はコロナ禍の影響による在宅時間の増加で、パスタや粉類などが一時的に品不足になるなど、食品の動向が大きく変動したが、一巡した2021年コロナと共存する中、食品カテゴリーの動向はどのように変化したかを、下記の5パターンの伸長率で比較した。

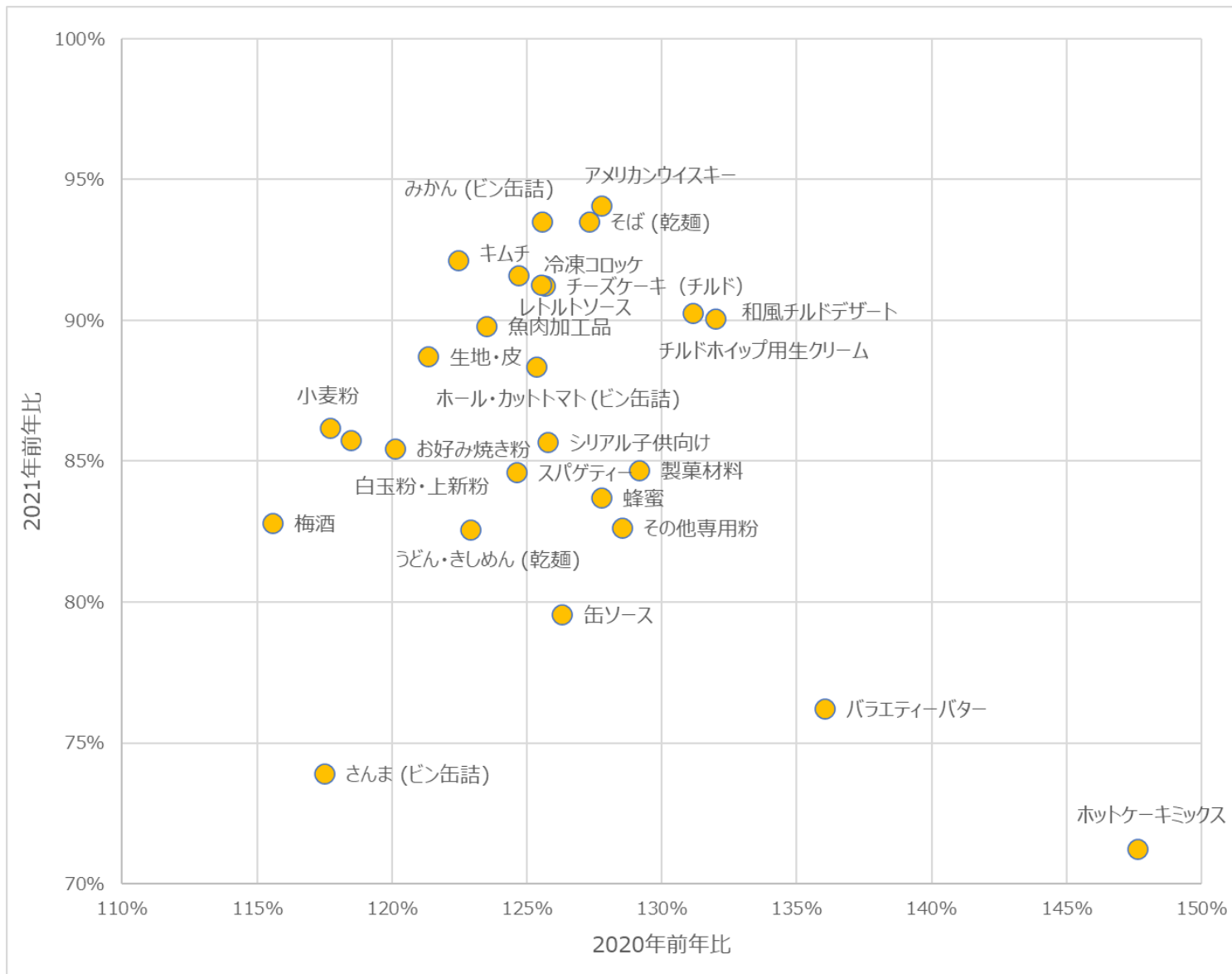


※年間売上1億円以上のカテゴリーを2019年2月～2020年1月/2020年2月～2021年1月/2021年2月～2022年1月で比較

コロナ後、反動で縮小したカテゴリー、継続して拡大しているカテゴリー、コロナの影響で縮小し回復したカテゴリーなどが見られるが、それ以外はそれぞれ別の理由で拡大・縮小している。

- ① コロナ禍による巣ごもり需要の影響で2020年に大幅に拡大した、手作り用の粉類・ランチ向けの麺類・休校による子供のおやつ用の菓子などのカテゴリーは2021年、反動で軒並み縮小している。
- ② 2年連続して拡大したカテゴリーは、カテゴリー自体が好調であったり、特定のセグメントや商品の影響であったり、値上げの影響など、それぞれ理由は異なっている。
- ③ ガムやポケットグミ・ラムネなどは、コロナの影響でオフィスや外出先での需要が減少し2020年に縮小したが、2021年には回復傾向にある。その他のマイナスからプラスに転じたカテゴリーは、新製品や特定のセグメントの影響などによる。
- ④ コロナの影響を受けた板ガムや錠菓(エチケット・機能)は2年連続して縮小しているが、2021年のマイナスは小幅なっており回復が見られる。2年連続マイナス幅が大きいさばやいわしのビン缶詰は、一時的なブームの反動によると推測される。
- ⑤ 2020年前年比・2021年前々年比(コロナ前との比較)が拡大した主なカテゴリーでは、在宅時間の増加などにより簡便性や経済性が重視され、コロナ禍から引き続き拡大したカテゴリーも多い。

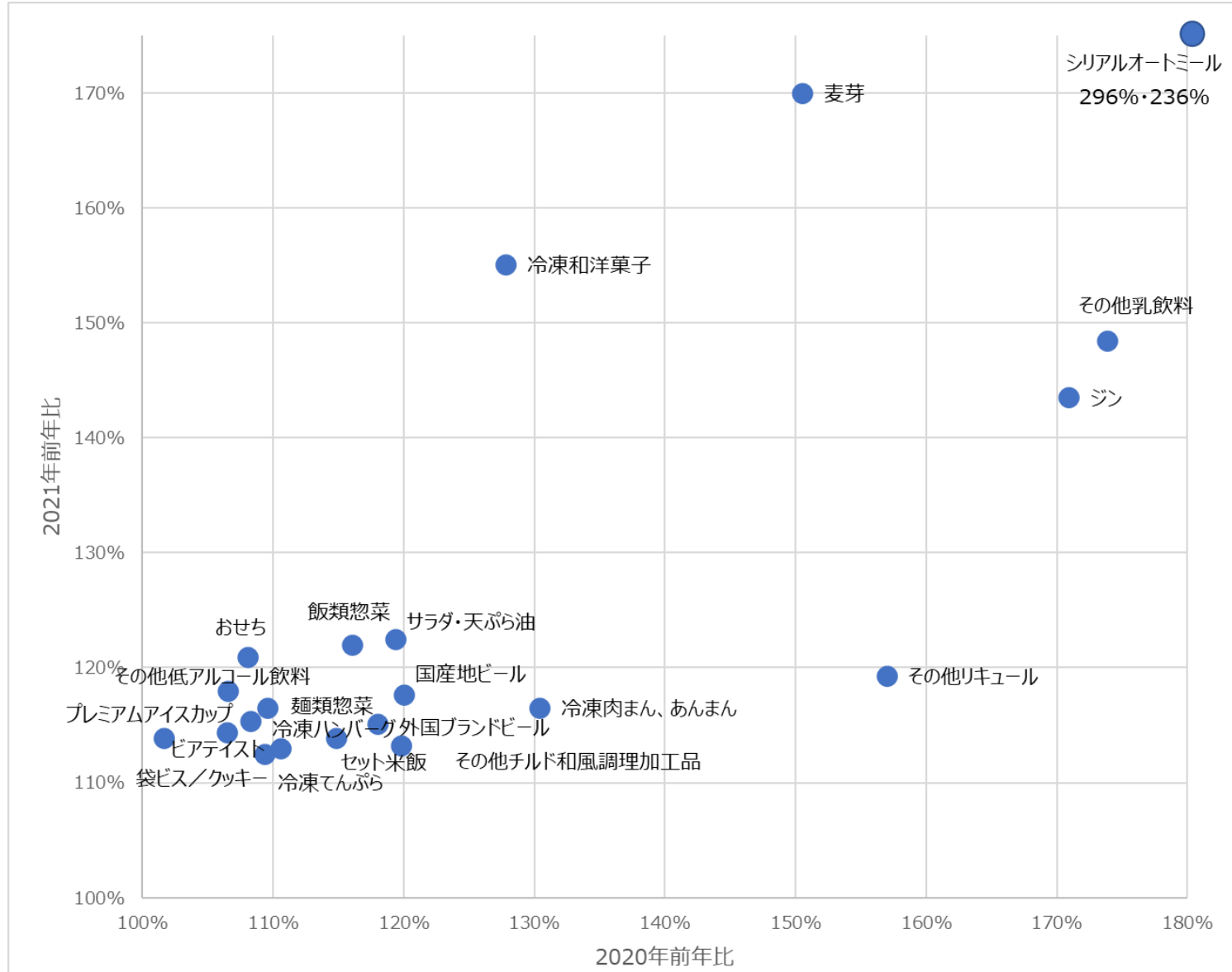
① 2020年に拡大し2021年に縮小した主なカテゴリー



- ✓ 2020年に拡大し2021年に縮小したカテゴリーは、ホットケーキミックスや小麦粉・バターやホイップクリームなど、巣ごもり時間を楽しむための料理やお菓子の手作り向けのカテゴリーが多い。
- ✓ 学校の休校による子供や在宅勤務時のおやつ用にチーズケーキやチルドデザートなども20年に伸びた。
- ✓ またランチ需要などで、そばやスパゲティなどの乾麺やレトルトソース・缶ソースなども20年に伸びたが、コロナが落ち着くにつれ需要は下がっている。

※年間売上1億円以上のカテゴリーを2020年2月～2021年1月/2021年2月～2022年1月で比較

② 2020年・2021年 2年連続拡大したカテゴリー

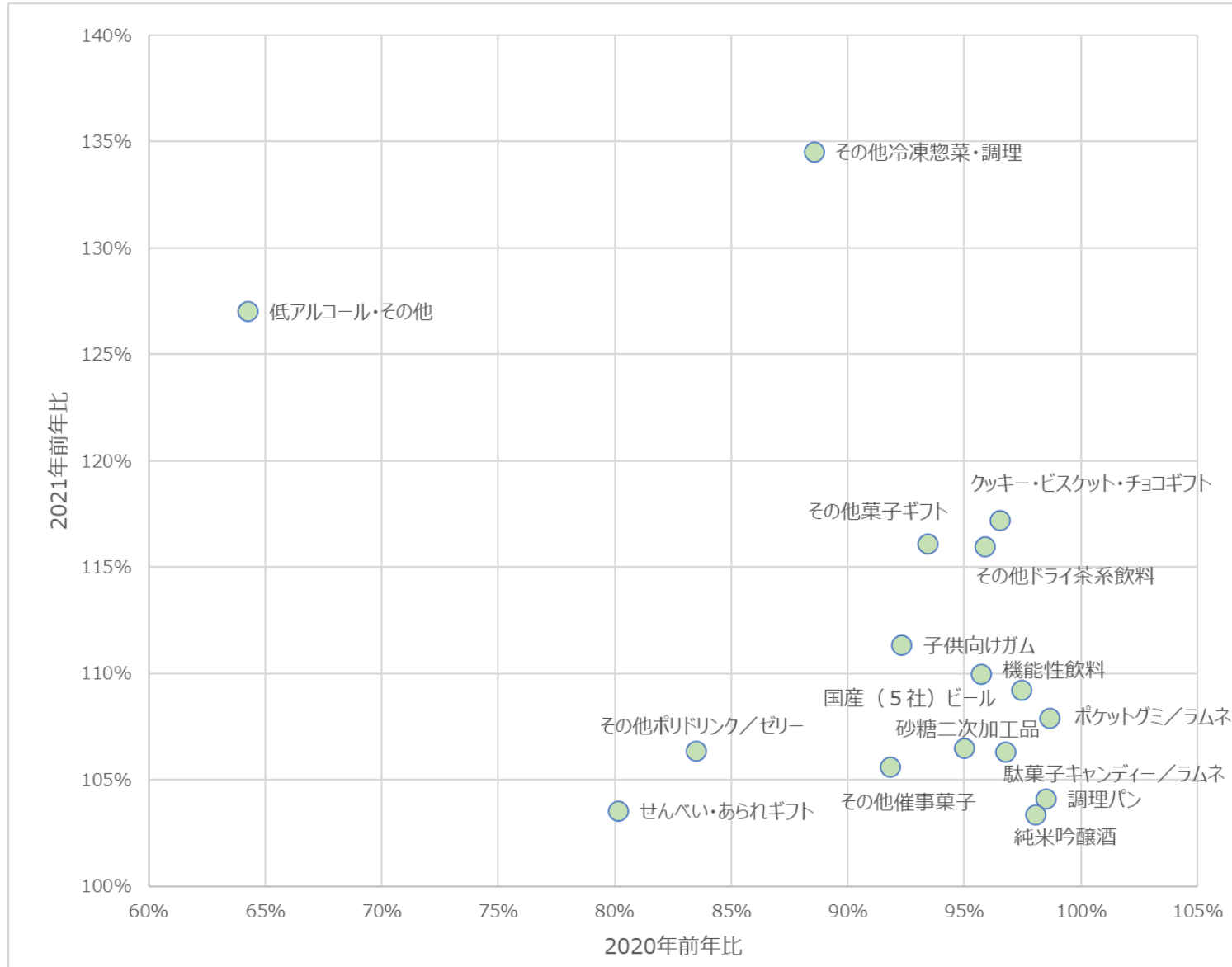


✓ 2020年・2021年、2年連続して拡大したカテゴリーはそれぞれ理由は異なっている。

- ・カテゴリー自体が好調で拡大傾向
シリアルオートミール
- ・特定の商品が牽引
麦芽ーミロ
その他乳飲料ーザバスミルクプロテイン
その他リキュールーチャミスル・サワーの素
- ・特定のセグメントが牽引
ジンークラフトジン
国産地ビールークラフトビール
ビアテイスト・その他低アルコール飲料
ーノンアル・微アルコール飲料
冷凍ハンバーガー高単価の商品
- ・値上げの影響
サラダ・天ぷら油

※年間売上1億円以上のカテゴリーを2020年2月～2021年1月/2021年2月～2022年1月で比較

③ 2020年に縮小し2021年に拡大した主なカテゴリー



※年間売上1億円以上のカテゴリーを2020年2月～2021年1月/2021年2月～2022年1月で比較

✓ 2020年に縮小し2021年に拡大したカテゴリーでコロナが影響したと推測されるのは、コロナでオフィスや外出先での需要が減少したが回復傾向の、ガム・ポケットグミ／ラムネ・駄菓子キャンディー／ラムネなどが挙げられる。

・新製品の影響

その他冷凍惣菜・調理

低アルコール・その他

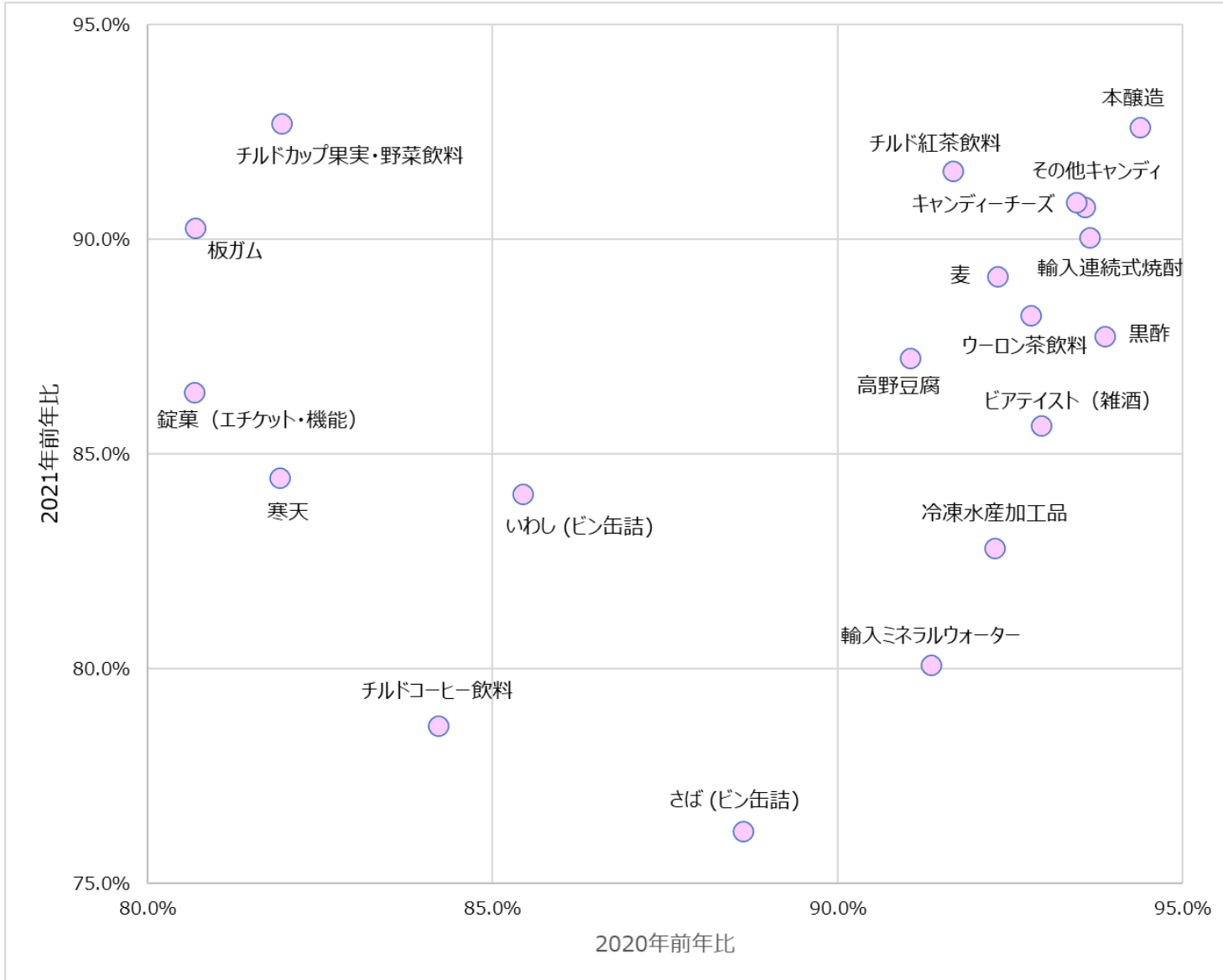
・特定のセグメントの影響

その他ドライ系茶飲料ー日本茶ラテ

・税制改訂の影響

国産(5社)ビール

④ 2年連続縮小した主なカテゴリー

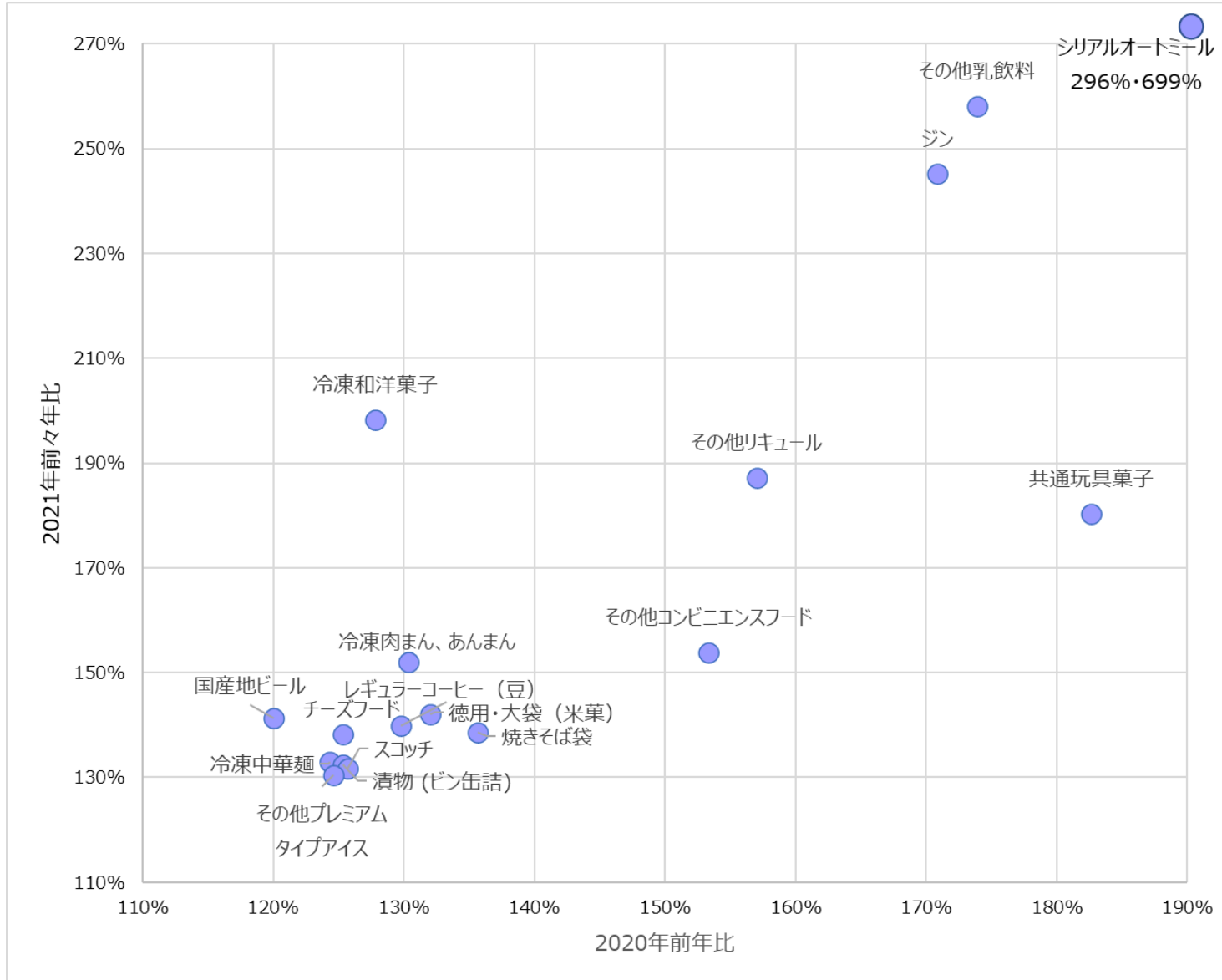


✓ 2020年・2021年、2年連続して縮小したカテゴリーでコロナが影響したと推測されるのは、以前からマイナス傾向でコロナによるオフィスや外出先での需要がさらに減少した板ガムや、マスク着用が影響した錠菓(エチケット・機能)などが挙げられるが、マイナス幅は小幅になっており、回復を示している。

- ✓ マイナス幅が大きくなっているカテゴリー
 - ・ブームの反動
 - さば・いわし(ビン缶詰)
 - ・他セグメントの影響
 - チルドコーヒー飲料
 - 輸入ミネラルウォーター
 - ・税制改訂の影響
 - ビアテイスト(雑種)

※年間売上1億円以上のカテゴリーを2020年2月～2021年1月/2021年2月～2022年1月で比較

⑤ 2020年前年比・2021年前々年比が拡大した主なカテゴリー



✓ 2020年前年比と2021年前々年比(コロナ前)が拡大したカテゴリーは、2020年・2021年、2年連続して拡大したカテゴリーと共通点が多い。それ以外では～

- ・在宅時間の増加
 - その他コンビニエンスフード
 - 冷凍肉まん、あんまん
 - 冷凍中華麺
 - 冷凍和洋菓子
 - 焼きそば袋
 - 徳用・大袋(米菓)
 - チーズフード
- ・家呑み需要
 - スコッチ
- ・ヒットアニメの影響
 - 共通玩具菓子
- ・値上げの影響
 - レギュラーコーヒー(豆)

※年間売上1億円以上のカテゴリーを2019年2月～2020年1月/2020年2月～2021年1月/2021年2月～2022年1月で比較

株式会社KSP-SP（**K**nowledge on **S**ales **P**romotion **S**ervice **P**rovider）は、「店頭」を活性化するために常に新鮮なデータ、ノウハウとシステムの開発・提供をめざす会社です。

お客様の店内購買決定率は約80%とも言われております。“売り”を作る上で製品と顧客の接点である店頭の提案・開発が益々重要となってきております。

当社は食品スーパーのPOSデータ・店頭情報、豊富な活用事例、並びにオリジナルな分析手法を元に、メーカーと流通の双方にニュートラルな消費者視点からデータ提供・レポートを行い、皆様の適正な収益向上、提案力向上に貢献してまいります。

当社は、それらを通じて従来の「カンや経験に基づく営業・マーケティング」から「科学的根拠に基づく戦略・戦術」への転換や、業務を効率的に運用するお手伝いをしております。

株式会社KSP-SPは、独自収集した全国食品スーパーマーケット、ドラッグストアの市場POSデータを多くの企業様にご提供しております。
データについてのお問合せ、ご相談はお気軽にご連絡ください。

POSデータ/本レポートに関するお問い合わせ ksp-info@ksp-sp.jp

株式会社KSP-SP

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-1 No.R浜松町 4F

お問い合わせダイヤル 03-5472-7652

■免責事項

- ・掲載データの性格上、正確性、完全性、最新性、有用性または特定の目的についての適合性については、当社は保証していません。
- ・掲載データの利用により損害が生じた場合、いかなる場合においても当社は一切の責任を負いません。



<http://www.ksp-sp.com/>